

## 第2学年 国語科学習指導案

児童 2年2組 24名(男子11名 女子13名)

指導者 菊池 牧子

- 1 単元名 たしかめながら読もう  
教材名 「一本の木」(光村図書 2年下)

### 2 単元について

#### (1) 教材について

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。本単元は、事柄の順序を絵と組み合わせることにより、分かりやすい説明となることに気付かせ、それを実際の生活の中に生かしていくことをねらいとしている。また、文章の内容・情報を表現に即して丁寧に読み取っていく学習を中心に設定されている。そして、読み取りを促す手段としてあるいはその正確さを確認する方法として、読んだ内容を絵や文章に表現していく活動が設けられている。さらに、言語情報の処理という観点から、情報の正確な受容・整理等を中心に、発信も含めたごく初歩的な情報活用の学習を行う単元である。したがって、本単元の学習を進めるにあたって、絵をかいたり説明書を作ったりといった「目的意識」を明確にさせ、その観点から、書かれている言語情報を読み取ったり活用したりするという方向付けをしていくことになる。

本教材は、木のかき方を文章と挿絵を用いて説明しているだけでなく、自然にある木を見る視点も提示している。したがって、教科書中の説明の順序(事柄の順序)にしたがって絵をかくこと、本文と挿絵とを照合することなど、確かめる活動を通してしっかりと読み取りの力を育てることができる教材である。

#### (2) 児童について

児童はこれまでに、「じどう車くらべ」「どうぶつの赤ちゃん」「サンゴの海の生きものたち」で事柄の順序に気を付けて読むことを学習しており、「たんぼぼのちえ」では時間の順序に気を付けて読む学習をしてきている。「サンゴの海の生きものたち」の学習においては、文章と写真を見比べながら内容を読み取る学習をしてきている。文章と写真(絵)が対応して書かれているものとして、児童は、折り紙の折り方の本やプラモデルの作り方の説明書などを日常的に目にしている。

児童は、説明文の学習においては、文中の語句に着目して、その意味や役割を考えながら読もうとし、教材文の書き方を参考に自分たちの図鑑を作る活動を生き生きと行ってきた。しかし、表現に即して正しく読み取る力は個人差も大きいので、本教材では、文章と絵を照らし合わせながら読むことを丁寧に行うことにより文章だけの説明よりも分かりやすいことを体感させたい。説明することが苦手な黙り込んだり、あきらめたりする児童もいるので、隣の友だちと絵を指差しながら確かめ合うことによって読み取りの違いに気付かせ、自分なりの説明をしようとする意欲をもたせたい。

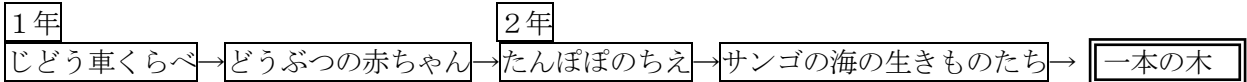
#### (3) 指導にあたって

この単元では、最初の読みの後に、1年生に絵入りの説明書をプレゼントするという目的を知らせ、単元の学習を通して意識させながら進めていきたい。

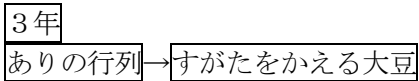
指導を進めるにあたって、絵と文がつながっていることに気づかせ、分かりやすい説明文に必要なことを考えさせる。時間的な順序で書かれた文章との違いに気を付けさせるとともに、「サンゴの海の生きものたち」で学習した、書いてあることと事実を比べる学習の仕方を想起させたい。また、生き物どうしの共生関係(事柄における関係)を読み取る際に文章と写真を見比べながら学習したことを活用して読み進めていく。

### 3 指導事項の関連と発展

「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読む」



「内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む」



### 4 単元の目標及び評価規準

観 点	目 標	評 価 規 準
国語への 関心・意欲・態度	○事柄の順序や絵と文章とのつながりを考えて読もうとする。	・事柄の順序や絵と文章とのつながりを考えて読もうとしている。
書く能力	◎おもちゃの作り方を順序に従って分かりやすく書くことができる。	・作り方を順序良く、絵を対応させながら分かりやすく書いている。
読む能力	◎文章と絵とのつながりを確かめながら読むことができる。	・文章と絵とのつながりを確かめながら読んでいる。
言語についての 知識・理解・技能	○文の中における主語と述語との関係に注意することができる。 ○新出漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。	・文の中における主語と述語との関係に注意している。 ・新出漢字を正しく読んだり書いたりしている。

### 5 単元の指導計画と評価規準（全11時間）

過程（時）	学習内容（○）と主な学習活動（・）	評価規準 活用したい既習事項（既）
意識をもつ 見通しを 立てる（1）	○全文を読み、教材文の書き方の特徴について考える。 ・教材文全体を音読する。 ・教材文の書き方の特徴について考える。 ○学習の進め方をつかむ。 ○新出漢字の練習をする。	<b>関</b> ムナーリさんの木のかき方やさまざまな木の形に興味をもち、絵入りの説明書を書こうとしている。 (発言・ノート) (既) 文章と絵がつながっていることに気付く。
深める（5）	○ムナーリさんの木のかき方を、絵と文を組み合わせさせて書く。（1・2時） ・ムナーリさんの木のかき方を思い出す。 ・絵入りの説明書を書く学習であることを知る。 ・ムナーリさんの木のかき方で絵入りの説明書を作る。	<b>読</b> ムナーリさんの木のかき方の4段階を正しく理解し、4枚のカードを絵と文章とをつなげて作っている。 (発言・ワークシート) (既) 順序を表す接続詞に着目しながら読む。読み取ったことを絵で表現する。
	○木の形に関する部分を読み取る。 ・木が育っていくときの決まりを知る。 ・木の形を絵とつなげて読む。  (本時)	<b>読</b> 絵と文章を正しくつなげて、「いろいろな木の形」を読み取っている。 (発言・ワークシート) (既) 説明の文と絵をつなぎ合わせて読む。

	○「木の書き方」と「木の形」が書かれている文章であることを確かめる。 ・「木の書き方」と「木の形」が書かれている文章であることを、カードを並べて確かめる。	<b>読</b> これまでの学習をまとめて、文章全体の構成と文章の書き方を理解している。(発言・ノート) (既) 文と絵の照合 順序を表す接続語
	○分かりやすい説明文について確かめる。 ・前時の学習を振り返り、分かりやすい説明文について確かめる。	<b>読</b> 文章を分かりやすい書き方という観点で振り返り、自分たちの書く活動の見直しをもっている。 (発言・ノート)
広げる (5)	○絵入りの説明書を用意する。 ・1年生に向けての説明書を作る学習であることを確かめ、作ってみたいおもちゃを一つ決める。 ・準備するものを絵と文で書く。	<b>関</b> 物の作り方や遊び方などの絵入りの「せつめい書」を作り、1年生に伝えることを楽しんでいる。 (観察・発言) (既) 順序を表す接続語
	○作り方と遊び方を絵と文で書く。 (2・3・4時) ・作り方と遊び方を絵と文で書く。 ・推敲する。 ・表紙と裏表紙を作り、完成させる。	<b>書</b> おもちゃの作り方を順序に従って説明書にまとめている。 (ワークシート) (既) 順序を表す接続語、文と絵の照合 <b>言</b> 文の中における主語と述語との関係に注意している。
	○互いに読み合い、感想を発表し合う。 ・友だちの説明書を互いに読み合い、よいところを見つけ、発表する。	<b>関</b> 分かりやすい説明文についての観点を持ち、書いたり読んだりする際に生かそうとしている。 (発言・ノート)
(時間外)	○1年生にプレゼントをしにいく。	

## 6 本時の指導

### (1) 目標

文章と絵を正しくつなげてほんものの木の形を読み取る。

### (2) 研究にかかわって

#### ○既習事項を活用する力

「サンゴの海の生きものたち」で学習したように、文章と写真や絵を見比べながら読んでいくことによって、確かに読み取ることができることを実感させたい。

前時で学習したことを生かして、キーワード「みき」「えだ」を囲み、何度も出てくる文末表現「木が(も)あります。」に着目させながら、文章と絵を正しくつなげる。本時の中においても、⑨段落を読み取った手順を生かして⑩段落を自分で読み取っていく活動をさせる。

木のかき方の場面で読み取った「木が育っていくときのきまり」と本時の場面である「ほんものの木の形」とを見比べながら考えることができるように、前時までの学習の掲示を活用させたい。

#### ○伝え合う力

説明することに抵抗のある児童もいるので、まず、隣同士で「ここがこうなっているから～」と文と対応している絵を指し示しながら説明させる。次に説明の仕方について互いに評価をさせ、それを生かして全体の発表へと進めていく。

(3) 展開

<p>前時の学習</p>	<p>[学習内容]                  ・ムナーリさんの木のかき方が分かる絵入りの説明書を書く。                  [学習活動]                  ・木を説明している文や文章を短冊に書き、絵と短冊をつなげて説明書を書く。                  ・1つの段落に1つの挿絵がついていることに気づかせる。</p>	
<p>過程</p>	<p>学習内容(番号)と学習活動(◎)                  予想される児童の反応(○)</p>	<p>指導上の留意点(・)                  評価規準</p>
<p>意識をもつ 7分</p>	<p>1 前時までの学習を想起する。                  ◎ムナーリさんが見つけた、木の書き方を確かめる。                  2 学習課題を把握する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     ほんものの木は、どんな形をしているのだろう。                 </div>                 ◎学習課題をノートに書き、読む。</p>	<p>・前時の学習が分かる掲示をしておく。                  ・前時の学び方(文と絵を比べながら読んだこと)も想起させる。</p>
<p>見通しを立てる 3分</p>	<p>3 学習課題の解決のための見通しを立てる。                  ◎どんなことに注意して読んでいけばよいか考える。                  ○「みき」と「えだ」の分かれ方に注意すればよい。                  ○絵と比べながら読むと、分かりやすい。</p>	<p>・掲示を見て、確かめられるようにする。</p>
<p>深め広げる 30分</p>	<p>4 学習課題を解決するために読み取る。                  ◎⑧～⑪段落を音読する。(一斉 → 個・4名)                  ◎⑨はいくつの木について書かれているか確かめる。                  ◎ワークシートの1の文に合った木の絵を見つける。                  ○えだが2本ずつに分かれる木でも、みきがとても長くてえだがみじかい木があります。                  ○みきがとても長くて、えだのみじかい木があります。                  ◎ほかの木(4本)についても、文と絵を結び付ける。                  ◎隣の友だちと、絵を指差しながら確かめ合う。                  ◎みんなで⑨段落の木についてまとめる。                  ○この木は、みきがとても長くて、えだのみじかい木です。                  ○この木は、みきはみじかくてはじめてのえだが長くて、ほかのえだはぜんぶみじかい木です。                  ○この木は、2本のえだの長さが同じではない木です。                  ○この木は、えだが下をむいてのびる木です。                  ○この木は、みきやえだがくねくねまがっている木です。                  ◎⑩段落を読みあと2つの木について確かめる。                  ○三本、四本、もっと多くのえだに分かれる木もあります。                  ○みきの先からではなくて、とちゅうから、えだがよこに出ている木もあります。</p>	<p>・◎段落に5つあることをおさえてから活動させる。                  ・キーワード「木もあります」に気付かせる。                  ・「みき」「えだ」の説明に着目させて、木の特徴をとらえさせる。                  ・「みき」「えだ」をはっきりと指差して確かめながら、話したり、聞いたりさせる。                  ・友だちと確かめ合ってから、全体でまとめていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>評価規準</b></p> <p><b>読</b> 絵と文章を正しくつなげて、いろいろな木の形を読み取っている。(ワークシート・観察)  <b>十分満足できると判断される状況</b>                  それぞれの木の「みき」「えだ」の特徴に着目し、指差ししながら説明している。  <b>努力を要する児童への手立て</b>                  「みき」「えだ」に着目させ、絵を指差し、確かめさせる。</p> </div>

	<p>◎提示された絵を見て、「みき」「えだ」「～木もあります」という言葉を使い、説明の文章をノートに書く。</p> <p>○みきからさいしょのえだが6本出ていて、つぎのえだも6本に分かれている木もあります。</p>	<p>・⑨段落の読みを生かして、「木もあります。」という文末表現をもとに2種類の木の説明を見つけさせる。</p>
<p>まとめ確かめる</p> <p>5分</p>	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>◎まとめの音読をする。</p> <p>◎学習感想を、発表する。</p> <p>○絵と合わせながら読むと、説明が分かりやすい。</p> <p>○1年生に書いてあげる説明書にも絵をつけたい。</p> <p>6 次時の学習内容の確認をする。</p> <p>◎次時は、分かりやすい説明の仕方について考えることを伝える。</p>	<p>・学習したことを確かめながら読むようにさせる。</p> <p>・今日の学習でも、「文章と絵を合わせて読むと分かった」ことを確認する。</p>
<p>次時の学習</p>	<p>[学習内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい説明の仕方を確かめる。</li> </ul> <p>[学習活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この教材文の説明の仕方のよさを確かめる。</li> </ul>	

(4) 板書計画

一本の木

いわさき きよし

⑩えだの分かれ方がちがう木

えだ

みき

三本、四本、もつと多くのえだに分かれる木

えだ

みき

⑨えだが2本ずつに分かれる木

えだ

みき

えだ

みき

えだ

みき

えだ

みき